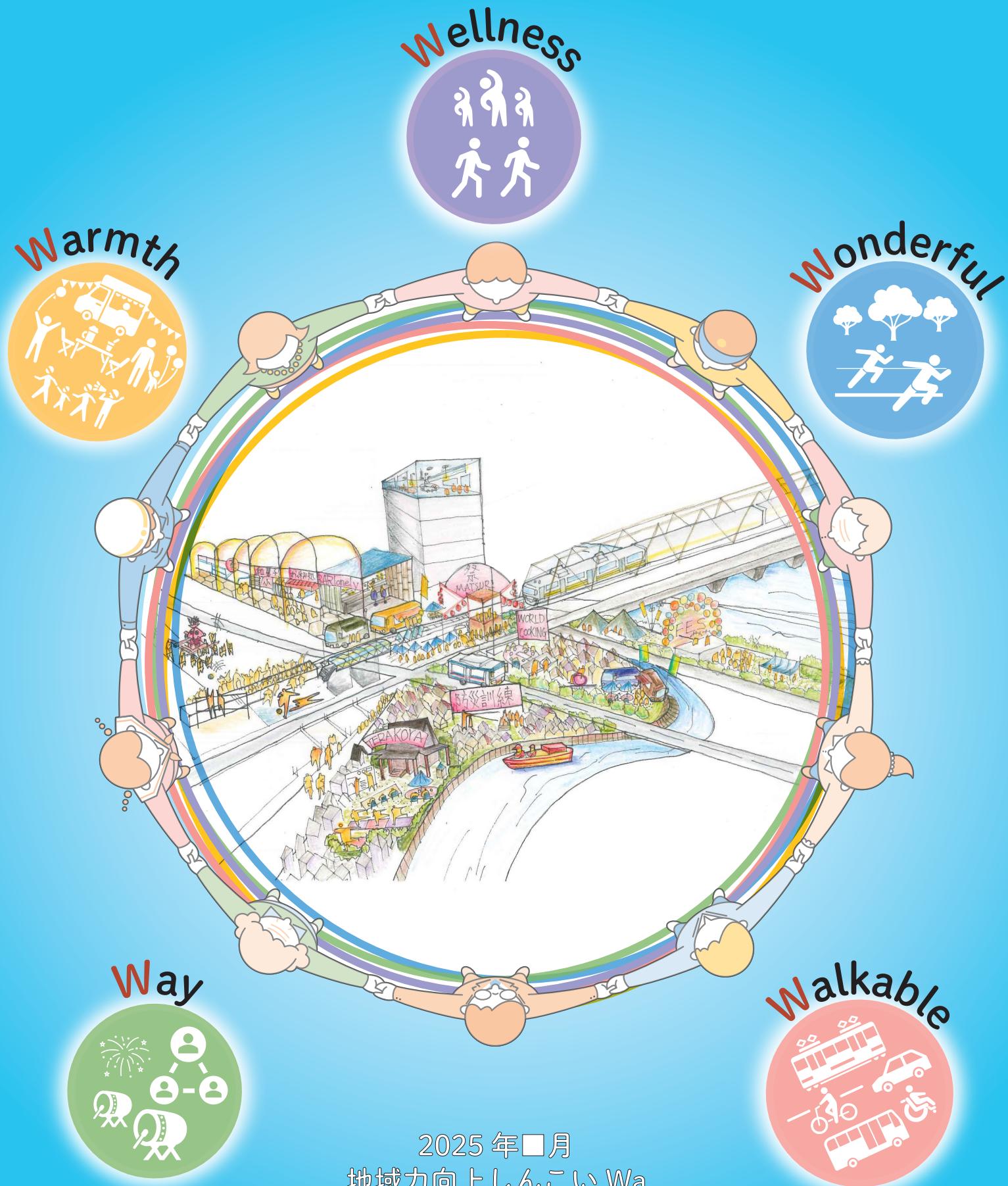


しんこい Wa 未来ビジョン

新小岩地域の将来像と今後 20 年間の取組



CONTENTS

第1章 はじめに

－しんこい Wa 未来ビジョンとは	2
－地域力向上しんこい Wa【エリアプラットフォーム】とは	2
－エリアマネジメントの取組	2
－未来ビジョンの対象エリア	2
－背景と目的	3
－未来ビジョンの位置付けと計画期間	5

第2章 新小岩の将来像

－新小岩の現状	8
－地域関係者へのヒアリングによるまちの特徴・課題	10
－新小岩のまちの課題の視点	11
POINT  まちづくりの方針	12
POINT  20年後の将来像	14

第3章 将来像を実現するための取組

POINT 【取組の5つのキーワード(5W)】

－ Warmth (人の温かさ)	16
－ Wellness (健康・幸福)	17
－ Wonderful (驚き・感動)	18
－ Way (つなぐ)	19
－ Walkable (歩きやすさ・心地よさ)	20
－新小岩における公共的空間の活用イメージ	22

第4章 今後の展開と推進体制

－ロードマップ	26
－未来ビジョンの実現に向けた推進体制	27
－目標達成の目安	27
－SDGs と本プランとの関係について	28

資料編

－現状分析データ	30
－参考:新小岩駅周辺地区まちづくりプラン(2023年4月)より、取組まとめ	32
－社会実験について(2023年度・2024年度実施)	34
－地域力向上しんこい Wa 会員紹介	38
－コアメンバー会議で出された意見の整理	40
－策定までの経緯	42

第1章 はじめに



しんこい Wa 未来ビジョンとは

- ・しんこい Wa 未来ビジョン（以下「未来ビジョン」という。）とは、新小岩地域の賑わい創出と価値向上のための目指すべき将来像を描いて、実現のための活動目標を設定し、これからのロードマップや取組、推進体制を定めたものです。

地域力向上しんこい Wa【エリアプラットフォーム】とは

- ・地域力向上しんこい Wa とは、新小岩地域に関わる多様な人々や活動団体、民間企業が参加し、当地域の将来像を描き、その将来像をもとに活動・情報共有・連携するため、2024年8月30日に設立されたフラットな会議体（エリアプラットフォーム）です。（P38：会員紹介）
- ・未来ビジョンは地域力向上しんこい Wa が策定主体です。

私たちちは、この未来ビジョンに基づいて取り組み、まちづくり活動を広げていきます。

エリアマネジメントの取組

- ・エリアマネジメントとは、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための住民・事業主・地権者等による主体的な取組のことです。
- ・新小岩地域のエリアマネジメントでは、未来ビジョンをよりどころにして、地域の活性化に向けて、地域に関わる活動団体や民間企業・行政が連携した活動を目指します。

未来ビジョンの対象エリア

- ・対象エリア（新小岩地域）は葛飾区新小岩、東新小岩、西新小岩です。



※色がついている箇所は公園・児童遊園等をさす。

背景と目的

未来ビジョン策定の背景

■ 「ひと」や「まち」の変化

- ・街づくりが進み、新たに新小岩に住む人が増えています。一方で、地域コミュニティの希薄化の懼れがあることから、今こそひとが「つながる」ことの重要性が高まっています。

■ 将来像の共有

- ・住民や地域に関わる活動団体、民間企業、個店、教育機関などが連携するために、地域の将来像を共有することが必要です。

未来ビジョンの目的

■ 「ひと」と「ひと」がつながる

- ・将来像を共有した「ひと」と「ひと」との活動の輪を広げることで、いろいろな趣味や関心を持つ人々が多様な形で交流し、新しいアイデアや取組が生まれ、相乗効果による賑わいの風景をつくります。

■ 新小岩の価値を向上

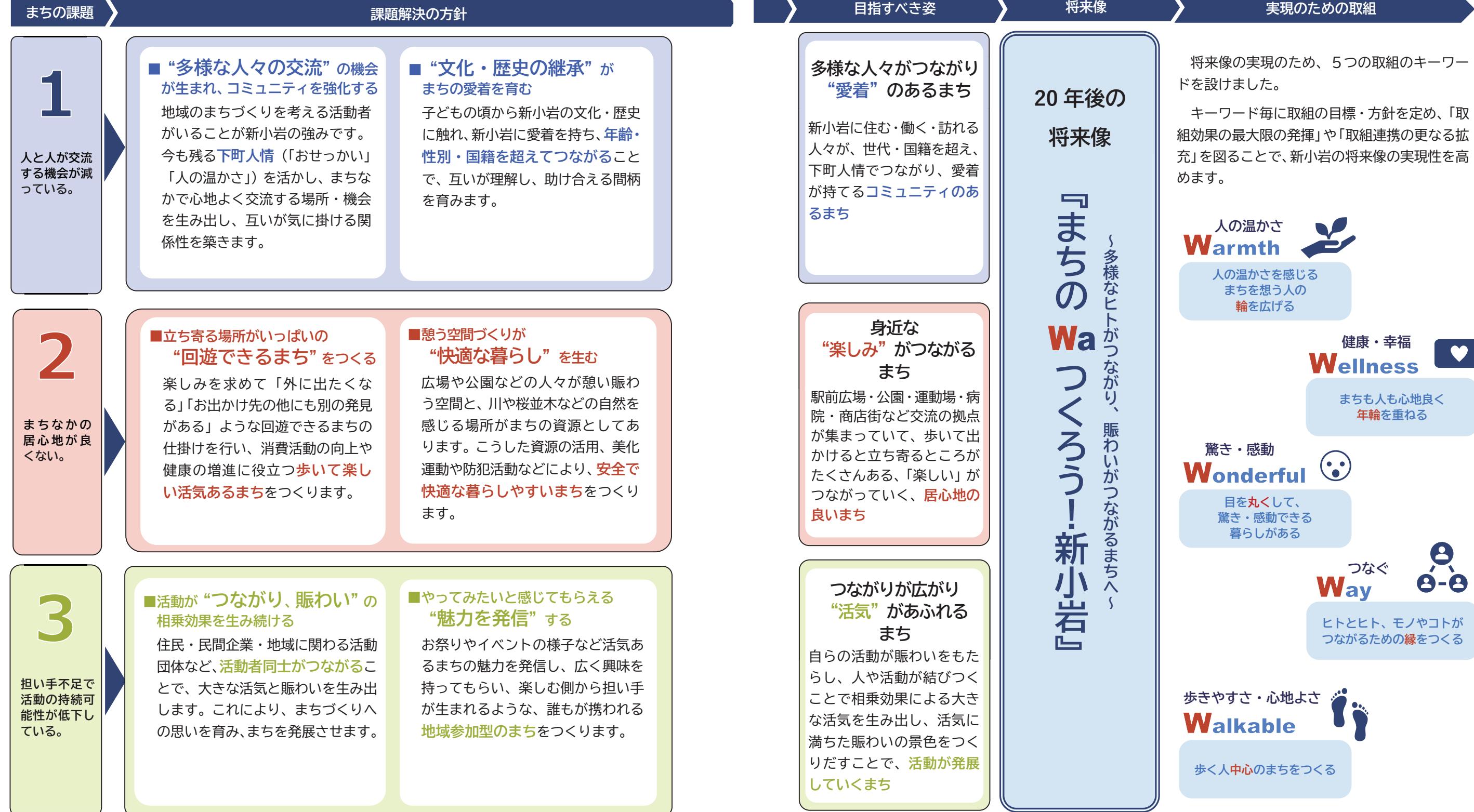
- ・都心アクセスが良い鉄道駅があり移動の利便性が高いこと、駅周辺には特色のある商店街や公園・運動場の公共空間が集まり、賑わいや憩いがあること、閑静な住宅街が広がり過ごしやすい暮らしがあることなど、生活の基盤が整っています。こうした地域特性を生かした様々な活動主体による連携した取組が、新小岩の魅力をさらに伸ばし、また新たに築くことで、新小岩の価値を向上させます。



まちづくりの方針

まちの現状と課題から、新小岩における「まちの課題」を3つに整理しました。ここでは、「まちの課題」に焦点を当てた課題解決方針、そして、「将来像」を定めます。

また、将来像を実現するためには、多種多様な分野の取組が必要です。その取組をキーワードで親しみやすく表現しました。





人の温かさ
Warmth 人の温かさを感じる まちを想う人の輪を広げる



新小岩の特長である人情を活かして、「人の温かさ」を感じるまちづくり、人づくりを行います。

商店会や自治町会、まちづくり協議会等を中心に新たな交流の機会を創出し、世代・国籍を超えた人と人の結びつきにより、地元愛や絆を育みます。

目標 1 商店街や個人店舗が強くつながり、新たなプレイヤーが活躍している

取組方針

- 1 公共空間を活用したイベントの定期開催等により、駅前だけでなく新小岩地域全体から参加者を集め、地区外も含めた新たなプレイヤーの発掘・育成のため、出店や PR のサポート体制を構築します。
- 2 商店街や個人店舗、プレイヤー同士の親密なつながりを構築し、商業等の相乗効果を生むため、新小岩の店舗を皆が紹介しあえるよう情報発信の強化や活動のコラボなどを行います。

取組イメージ



趣味のクラフト作品等の販売のためのイベントを実施
(社会実験)



同じイベントに出店したことをきっかけに、新小岩南北の個人店舗が連携し、コラボ販売を実施



大学生や卒業生が運営する地域貢献を目的としたサークルが、イベントをきっかけに新小岩でのプログラミング教室や科学実験教室を実施 (社会実験)

目標 2 災害時等に助け合える日常的なコミュニティがある

取組方針

- 1 地域の防災訓練や防犯活動については、共助の意識を高めるため、誰もが参加できる体験イベント等の開催や情報発信を自治町会や NPO 団体などと協力して行います。
- 2 地域に住む人たちの顔を知り、誰もが助け合うコミュニティを形成するため、世代や国籍を超えた文化交流をする機会をつくります。

取組イメージ



災害時の連携を強化するため、救命ボートを使用して、他地区的自治町会と合同防災訓練を実施
(東新小岩七丁目町会)



地域住民が中心となって火の用心(防災)の注意喚起を促すため、町内パトロールを実施
(上小松町会)



水餃子づくりを通じて、調理で出たゴミの捨て方や地域のルールを共有するため、外国人居住者との住民交流会を開催 (西新小岩リバーハイツ団地自治会)

健康・幸福
Wellness まちも人も心地良く**年輪**を重ねる



新小岩に暮らす人や働く人、訪れる人が心身ともにいつでも健やかでいられる環境をつくります。

「体を動かす」「幸福度が増す」など、健康意識をまちに広げて、誰もが健康や幸福を実感できるまちを目指します。

目標 3 楽しく・健康に過ごせる毎日を送ることができる

取組方針

- 1 総合病院やスポーツ施設、福祉施設などの各施設との連携による健康・栄養講座等を開催します。
- 2 誰もが体を動かして楽しめる地域の大運動会や専門的な知見を活かしたスポーツイベントなどの健康増進コンテンツを実施します。

取組イメージ



65歳以上の区民が運動習慣を身につけられる機会を創出するため、フィットネスクラブと協働した取組を実施（葛飾区）



健康意識を醸成するため、誰でも参加可能な無料公開講座の開催を定期的に実施
(イムス東京葛飾総合病院)



地域の交流やスポーツに接する機会を提供するため、「かつしかスポーツフェスティバル」を開催（葛飾区、葛飾区スポーツ協会）

目標 4 まちなかを楽しく移動できる仕掛けがある

取組方針

- 1 まちなかを移動しながらお店の情報を得ることや、イベントに参加できるなど、回遊する仕掛けを作ります。
- 2 外出をして、街を歩くことが目的となるような、桜並木や水辺空間などの自然を体感する散歩コースや、商店街を巡る街歩きコースなどの多種多様なガイドマップを充実させていきます。

取組イメージ



楽しみながらウォーキングなどの健康行動を身につけるため、観光スポットなどを巡るスマートフォンのアプリを配信（葛飾区）



新小岩駅南口を巡るきっかけをつくるため、「まちめぐりスタンプラリー」を開催（新小岩南地域まちづくり協議会）



新小岩の名所を巡りながら、葛飾の商店街や観光スポットを散策するため、「駅からハイキング＆ウォーキングイベント」を開催（JR東日本）

驚き・感動

Wonderful

目を丸くして、驚き・感動できる暮らしがある



新小岩ならではの特色のある商店街や観光スポット、イベントなどの資源を活用し、活気を生みます。

「新しいことに気軽にチャレンジできるまち」のイメージが根付き、新しい出会いや新しい出会いや体験が驚きと感動を与えます。

目標 5 新小岩の魅力を感じる多くの場所がある

取組方針

- 1 新小岩公園や東新小岩運動場、商店街など、新小岩の核となる場を地域で存分に活用し、大型飲食イベントやスポーツイベントなどの活動を定着させることで「新小岩らしさ」を育みます。
- 2 モンチッチやキャプテン翼などの観光資源を活かした活動を広げ、エリア内外へ新小岩の魅力をPRし、新小岩ファンを増やします。

取組のイメージ



食による地域の賑わい創出のため、「かつしかフードフェスタ」や新たに「下町ハイボールフェス」などの大型イベントを新小岩公園にて開催



キャラクターとコラボにより、スポーツを通した賑わい創出のため、「キャプテン翼 CUP」を東新小岩運動場にて開催（葛飾区）



プロの音楽家による演奏やモンチッチとの撮影会などによる賑わい創出のため、「新小岩駅東北ひろばまつり」を新小岩駅東北広場にて開催（新小岩北地域まちづくり協議会）

目標 6

新小岩らしい夜型飲食や自然などを安心して楽しめる

取組方針

- 1 荒川水辺や土手などでは、地形・風景を楽しむイベントで自然の豊かさを感じ、都市農園やコミュニティガーデンでは、食育プログラムやガーデニングショップを行います。
- 2 夜も賑わうまちなかで、安全に楽しめる飲食や遊興を推進します。

取組イメージ



夜の時間を楽しむため、イルミネーションに合わせたナイトタイムイベント（占い、飲食等）をスカイデッキたつみにて実施（社会実験）



自然との触れ合いをとおして、交流を生むため、地域のコミュニティガーデンや旧松南小学校の森づくりを実施（松南の森プロジェクト）



地域が運営することにより、安心な夜間の賑わいを創出するため、ビアガーデンイベントを新小岩南口駅前広場にて実施（社会実験）

つなぐ Way ヒトとヒト、モノやコトがつながるための縁をつくる



様々な機会を通じて地域の文化や歴史に触れることで、新小岩に愛着を持ち、まちづくり活動に参加できる環境をつくります。

その活動を内外に発信することで、新たな転入者やあらゆる世代・国籍の人人がつながりたくなるまちをつくります。

目標 7 歴史の継承や趣味の広がりが人と人のつながりを育んでいる

取組方針

- 1 様々な国の子ども達が新小岩に残る日本の伝統文化と一緒に体感し、人情あふれる雰囲気を後世に引き継ぐために、手習いや舞踊などの文化活動を発表・発信する機会をつくります。
- 2 寺社や橋跡地、歴史を語る公園、旧道の歴史散策などを活用したイベントなどを通じて、歴史ある風情を感じる体験をし、新小岩の歴史の魅力を発信していきます。

取組イメージ



子どもたちが新小岩の伝統文化に触れられる機会を創出するため、「新小岩納涼盆踊り大会」を開催（新小岩栄通り会）



親子で和太鼓や盆踊りの教室に通い、成果を地域の方の前で発表するため、イベントを開催（新小岩親子伝統文化倶楽部）



新小岩の歴史を感じながら、大人から子どもまで神輿を担ぎ、交流するため、「新小岩天祖神社例大祭」を開催（新小岩第四自治会）

目標 8 「まちの魅力」が効果的に発信されている

取組方針

- 1 新小岩ならではの観光資源のほか、新しい分野を取り入れたイベントなどの賑わい資源を、まちの魅力として発信します。
- 2 まちの掲示板など、既存の情報発信に加え、SNS やサイネージ上のデジタルコンテンツを活用して地域内外への発信を強化し、多世代に情報が認知されることで新小岩のファンやユーザーを増やします。

取組イメージ



新小岩の様々なイベント情報を集約し発信するための、ウェブサイトを運営（しんこい one あんない）



地域のキャラクター活用した魅力を発信するため、駅前広場のモンチッチ像では、冬になるとイルミネーションを装飾



地域情報などを発信するため、南口駅前広場や北口駅前広場にて、デジタルサイネージを設置（社会実験）



新小岩には、人々が集う商店街や鉄道駅などの施設、人々が憩う公園や河川などの自然があり、

こうした資源を活用し、心地よく生活できる環境をつくります。

行きたい場所へ移動するときに、思わず歩き回りたくなる安全・安心なまちを目指します。

目標 9 まちじゅうにサードプレイス※がある

取組方針

- 1 公園や屋内公共施設のみならず、道路や様々なオープンスペースを活用し、居心地の良い滞留空間（サードプレイス）を積極的に創出します。
- 2 まちなかにベンチなどの歩行者が休憩できるスペースを創ります。

取組イメージ



公共空間にサードプレイスを創出するため、駅前広場のイベントにて人工芝を敷設（社会実験）



近隣住民に憩いの場を提供するため、金町駅前の道路上にてキッチンカーの出店や、公開空地を利用してテラス席の設置を実施（金町駅みなみエリアを考える会）



誰でもくつろぐことができる空間を提供するため、平和橋通り沿いのビルの敷地において、所有者が自主的にベンチを設置

※サードプレイス：自宅や会社などの居場所以外にくつろげる場所のこと

目標 10 まちじゅうが安全に安心して移動できる

取組方針

- 1 放置自転車をなくすことやクリーン活動などにより、まちの美化を啓発することで、ポイ捨てごみを無くし、歩行者が安全に安心して移動できる歩行空間の実現を目指します。
- 2 夜回りや防犯パトロール、自転車利用時の安全意識向上運動などを通じて、住民同士の目が行き届き、事故のない、安全・安心に移動できる環境を作ります。

取組イメージ



誰もが快適に過ごせる駅前空間を提供するため、新小岩駅北口駅前広場の周辺にてゴミ拾い（クリーン作戦）を毎月実施（新小岩第六自治会）



夜でも安全・安心に地域内を歩くことができる環境づくりのため、防犯パトロールを実施（上小松町会）



「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり。まちなかの官民のパブリック空間を一体的に捉え、居心地が良く歩きたくなるまちなかを推進（出典：国土交通省）

新小岩における公共的空間の活用イメージ

新小岩は大規模なものから地域に密着した身近なものまで多様な公共的空間が数多く存在しています。

これらの空間は、新小岩らしさや下町の良好なイメージを形成してきた要素であり、これからのまちづくりに欠くことができないものです。

将来像の実現に向けては、時代やニーズに合った公共的空間の活用を模索しながら、エリアマネジメントの取組を進め、新小岩のまちの魅力向上を図ります。

